

# 県外派遣審判員報告書

作成日 2018年 2月 28日

大会名	第38回全九州中学校春季バスケットボール選手権大会	会場	別府アリーナ
期間	2月23日(金)～2月25日(日)	報告者	川井 剛(中体連)

## スケジュール

期日	内容	場所
2月23日(金) 19:00～	審判会議	別府アリーナ
2月24日(土) 9:30～	大会1日目	別府アリーナ
2月25日(日) 9:30～	大会2日目	別府アリーナ

## 審判会議の内容

- 監督会議での伝達事項
- 夏の九州大会は一日目から3PO
- 今大会の位置づけ(ジュニアオールスター・夏の九州大会)

実技	割り当て	男子2回戦【西福岡 vs 千代田】	主審	相手	平田(長崎県)B級
----	------	-------------------	----	----	-----------

### ○ゲーム前(プレカンファレンス)

まず両チームの特徴を確認した。ガイドラインについては、手の使い方・ポストプレイ・AOSを特に確認した。リードで右に渡るケース、その際のトレイルの視野の当て方、プライマリエリア、セカンダリエリアの確認をし、アウトオブバウンズで見えづらい場合のヘルプの仕方なども確認をした。シュータープロテクトに関して、平田氏が持っていた映像で確認をした。

### ○ゲームの実際

ゲーム序盤から平田氏のエリアでの現象が多く、丁寧にテンポセッティングをしていただいた。2P中盤頃から点差が開き始めたが、1Pの基準をしっかりと保つことができた。ハーフタイムに負けているチームのキープレイヤーのファウルの数を確認し、後半に臨んだ。後半に、そのキープレイヤーに対しての判定の在り方で少し迷いが出た部分があった。全体的には、TOトラブルもなく落ち着いてゲームを進めることができた。

### ○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 林田氏(大分県)B級

1Pのうちに、両チーム共にまだ整理してもいい接触があったのではないかとということ、トレイルの位置取りが高めであったということアドバイスをいただいた。ケースでは後半のやや大きめの接触について、リードの反対側でのリバウンドへの目のあてかたについてアドバイスをいただいた。

実技	割り当て	男子準決勝【西福岡 vs 高江洲】	レフリー	相手	一瀬(長崎県)B級/本部(宮崎県)B級
----	------	-------------------	------	----	---------------------

### ○ゲーム前(プレカンファレンス)

3POメカのなかでも、特にローテーションのタイミング、オールコートディフェンス時の動き、2vs3の確認、クロックの管理、クルーでの情報共有のために声を使うことを強調してカンファレンスを行った。両チームの前日までのゲームから情報を出し合い、ポストがキーになること、外回りの手の使い方について確認を行った。

### ○ゲームの実際

3人とも落ち着いてゲームに入ることができた。メカクスも、それぞれが意識し合いながらバタバタすることなく進めることができた。後半に、ショットファウルをコールし2ショットのレポートをした際に、クルーから「バスケットカウント1ショット」であったとヘルプがあったので受け入れてゲームを進めたが、その後にやはりバスケットカウントではなかったことが発覚し、処置について協議した場面があった。ヘルプがあった際に、もっとしっかりと確認を行うべきだった。EOGの場面で、トレイル側からスローインがあり、トップ付近のスクリーンプレイからセンター側の高い位置にロングパスが通り3Pショットを打つシチュエーションがあった。パスのボールを目で追うだけになってしまい、ショットブロックの際にディフェンスの手が絡んだものを判定できなかった。パスが大きく飛んだ時点で自分のポジションも変えなければならなかった。

### ○ゲーム後(ポストカンファレンス) 主任 御手洗氏(大分県)S級

今回のゲームでは、大きな取りこぼしやトラブルは起きていないが、カテゴリーが上がったら今のメカや判定では取りこぼし等が出てくるということ。プライマリを大事にすること。それは、相手のプライマリを大事にしていることにもつながるということアドバイスをいただいた。自分の位置やアングルで、自分の見ているプレイをもっと相手に明確に伝えることと、逆に相手の様子から自分が見るべきプレイやエリアを判断することを、もっともっとこまめに綿密に行う必要がある。処置の訂正が起こった場面について、声を出してお互いに確認することの大切さを教えていただいた。ラストプレイについて、映像を見て確認をしたところ、やはりトレイルが判定に行かなければならないということと、このようなラストプレイについてはリードもプレイをとらえるためにスイッチサイドをしなければいけないということもアドバイスをいただいた。

## 全体を通しての感想

今回は2日目に3POということで、CCを経験させていただきました。県内でも多くの場を設け訓練してきていたので、戸惑うことなく進めることができました。その中で、2日目の他のクルーは、パソコンで映像を用いながらカンファレンスを行っていました。他県のレフリーとメカを共通理解し、実践していくためにも、カンファレンスのための資料作りなども今後進めていきたいと思えました。また、県内でももっともっと3POの機会を自ら探して、頭に入っている情報を実践していきたいと思えました。最後に、このような機会を与えて下さった県審判委員会や、運営等さまざまな場面でお世話をして下さった大分県審判部の方々に感謝申し上げます。第38回全九州春季バスケットボール選手権大会の報告といたします。